

SSH ポスター発表会

9月12日（土）の午後、新三丘会館にて、SSH ポスター発表会を実施しました。本発表会は、自身の考えをポスター形式でまとめ、人に説明することを通してコミュニケーション技術を学ぶことを目標に、1年生は夏休み中に実施した研究室訪問で学んだことを、2年生はこれまで実施した課題研究の進捗を発表しました。

<実施内容>

① 日程：平成27年9月12日（土）13時30分～15時

② 場所：本校新三丘2階会議室

③ 参加者：

課題研究生60名（1年生 38名、2年生 22名）

科学系クラブ15名（理科部3名、天文部7名、生物部5名）

NASA・FITサイエンスツアー海外研修参加者6名（課題研究生除く）

来賓 京都大学 喜多 一教授

大阪大学 堤 康央教授

大阪市立大学 櫻木 弘之教授

大阪府教育センター 岡本 真澄

京都大学大学院 徳島 祐彌

課題研究生の保護者11名

教員15名

④ 実施内容：

（1）NASA・FITサイエンスツアー海外研修参加者による成果報告

（2）物理1班「水ロケットをとばそう」口頭発表

（3）課題研究生1年生・2年生および科学系クラブ生徒によるポスター発表

発表班および発表内容

発表班	発表内容
1年 物理1班	大阪市立大学 荻尾 彰一 研究室 訪問発表
1年 物理2班	大阪市立大学 荻尾 彰一 研究室 訪問発表
1年 化学1班	大阪大学 堤 康央 研究室 訪問発表
1年 化学2班	大阪大学 堤 康央 研究室 訪問発表
1年 化学3班	大阪大学 堤 康央 研究室 訪問発表
1年 生物1班	大阪大学 高木 慎吾 研究室 訪問発表
1年 生物2班	大阪大学 高木 慎吾 研究室 訪問発表
1年 数学班	大阪市立大学 金信 泰造 研究室 訪問発表
2年 物理1班	ペットボトルロケットをとばそう！（口頭発表）
2年 物理2班	布の素材による吸湿量の変化
2年 化学1班	ルビーの単結晶の合成
2年 化学2班	ペニシリンの精製

2年 生物1班	カナヘビの尻尾についての考察
2年 生物2班	オキザリス・デッペイの開花コントロールについて
天文部	星野写真の撮影
理化部	酸化チタンを用いた廃液処理と水質改善の研究
生物部	グッピーの知能に関する研究

NASA・FIT サイエンスツアー海外研修の成果発表

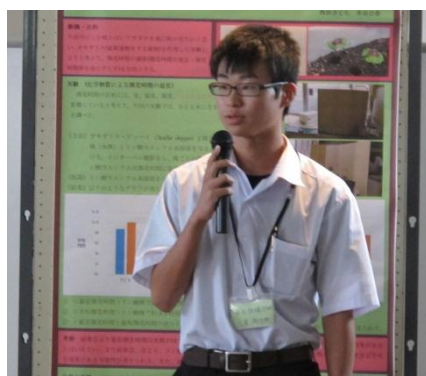
この夏、本校代表の20名がアメリカ航空宇宙局（NASA）やフロリダ工科大学（FIT）で海外研修を実施しました（詳細な内容は別紙報告書をごらんください）。その成果として、現地で何を学び、どう活かしていくのか、を課題研究生はじめ、多くの方々に対し発表しました。初めて大勢の中でのパワーポイントを使った口頭発表でもあり、緊張してはいましたが、現地でしか得られない体験を通して、感じたことを伝えることができたのではないのでしょうか。



NASA・FIT 海外研修の成果を発表

口頭での課題研究中間報告

物理1班は今後の大阪サイエンスデイに向けて口頭発表を行いました。発表後、大学の先生から様々な質問を受け今後の研究のヒントが得られたのではないのでしょうか。今後も発表の機会を活かし、プレゼン能力の向上に努めてもらいます。



口頭発表を実施



大学教授からの質問に堂々と答える生徒

全員参加のポスター発表

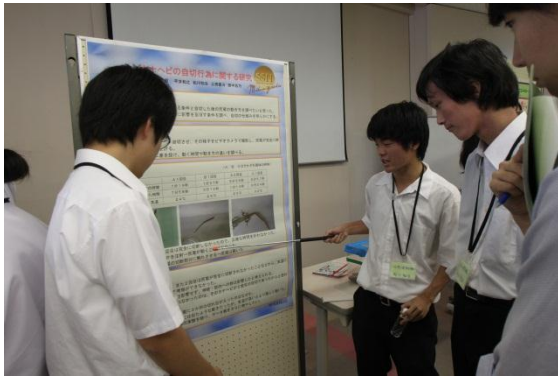
課題研究生・科学系クラブ合わせ総勢70名がポスター発表を実施し、各ポスターの前では活発な議論が行われました。各班、様々な方法で伝える工夫を考え実践でき、大学の先生方からも「非常に楽しそうに研究し、発表できている」との評価をいただきました。



総勢100人以上の参加者によるポスター発表会



研究内容をポスター発表する生徒①



研究内容をポスター発表する生徒②



大学教授による質疑応答

発表会終了後・・・

発表会終了後の生徒アンケートの結果、課題研究生1年生のおよそ7割が「研究室を訪問して、科学技術に対する興味・関心が非常に強くなった」と回答しました。発表会を通してほぼ全員がプレゼン能力の向上を実感できたことがわかりました。2年生も7割が「質疑応答を行うことで、今後の研究におけるヒントを得ることができたと強く思う」と回答しており、短い時間ではありましたが、互いに刺激し合い、今後につながる発表会が実施できました。